

現場かわら版

第3号
2016/4
SPRING

工事の情報や様子を紹介します

春の花見山

日本を代表する写真家 故・秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と毎年訪れていた場所で、数種類の桜やレンギョウ、ボケ、モクレン、ハナモモなどの花々が一齐に咲き誇る福島市を代表する春の名所です。

昭和10年ごろより、養蚕農家(当時)の方が生活のために花を植えたのが始まりで、その後、昭和34年から一般開放されるようになりました。



立柱式が執り行われました。 これから鉄骨工事が進んでいきます。

本工事現場では、建物の根幹となる柱の第一番目を建てる際の神事である、「立柱式」が、3月10日(木)に執り行われました。今回は、大原総合病院の平子理事長、佐藤副理事長兼統括院長をはじめ、12名の病院関係者が参列されました。6月下旬の鉄骨建方完了を目指し、これまで同様、安全に良い品質の建物の建設を進めて参ります。



新 大原総合病院

3. 1階中央待合



カフェを併設した明るく開放的なエントランスホール。受付・会計・地域連携・入退院・売店をホールに隣接し、効率的で分かりやすい配置とします。

また、1階に「救急外来」「外傷センター」「画像センター」を集中配置し、診療機能の連携強化を図ってまいります。

健康大応援!!

フルーツ王国 福島

福島市はフルーツの産地として有名です。
ここでは、福島産フルーツの効能を紹介します。



整腸作用と美容に
効果抜群

いちご

いちごが美味しいこの季節、福島市でも、いちご狩りを気軽に楽しむことができる果樹園がたくさんあります。

いちごは、果実の中でも食物繊維が豊富で、整腸作用のあるペクチンが多く含まれているといわれています。また、メラニン色素の抑制やコラーゲンの生成に必要なビタミンCも多く含むため、美肌・美容への効果があるといわれています。

人と建物を守る「免震」大解剖!!

TOPICS



ついに、今回の病院本体構造の肝となる、免震装置の設置が完了しました。

今号では、「免震」大解剖!!と題し、工事で採用されている免震対策についてご紹介し、市民の皆さまと建物を守る免震構造に迫ります。

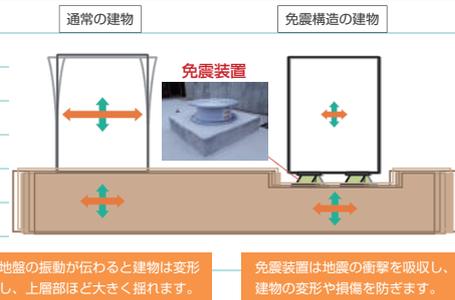
私をご紹介します!

大原綜合病院移転新築
JV工事事務所
工事課長 高瀬 和之



Q1 免震構造とは何か?

免震構造とは、地盤と建物間に地震を受け流す免震装置を設置し、建物への地震力の伝達を低減させる構造のことをいいます。



Q2 免震工事の工程を教えてください!

STEP 1 免震装置が設置される基礎を構築します。

STEP 2 クローラクレーンという揚重機で免震装置を持ち上げます。



STEP 3 免震基礎の上に設置しボルトを締めて完了です。



免震装置の取り付けは大がかりな作業なんです!

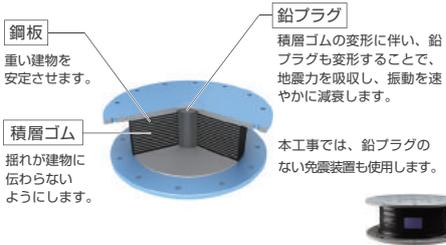


Q3 免震装置はどのような構造?

当工事では、それぞれ効果や特性が異なる4種類の免震装置を使用し、1階床梁と基礎との間に免震層を設けます。

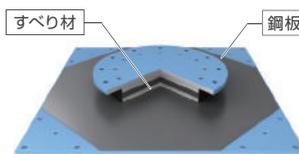
天然免震積層ゴム型免震装置

積層ゴムの柔らかさを活かし、地震の揺れをできるだけ建物に伝わらないようにするものです。



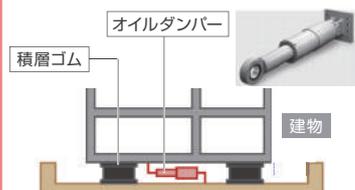
すべり支承^{ししょう}

柱の真下に設置された、低摩擦のすべり材が、平滑な鋼板の上を滑ることで、地震の揺れが建物に伝わりにくくなります。



オイルダンパー

地震時の激しい揺れが建物に伝わらないよう、ゆっくりした揺れに低減させる効果があります。



Q4 「免震」の効果は?

今回の新病院は、免震構造の設計目標で床応答加速度を、診療階で250gal以下、病棟階で300gal以下としています。耐震構造の建物との比較では、診療階・病棟階共に1/4程度の揺れとなっています。

galという加速度の単位では実際の揺れがなかなかイメージしにくいかもしれませんが、耐震構造はがたがたと小刻みに激しく揺れ、免震構造はゆったりと船の横揺れのような揺れのイメージとなります。

しっかりと免震対策を施して、次の鉄骨工事の工程へ進みます!

日本で起きた地震の最大加速度

2011年 東日本大震災 最大 2933gal
1995年 阪神大震災 最大 900gal



発行元



鹿島・佐藤・菅野特定建設工事共同企業体 大原綜合病院移転新築JV工事事務所
〒960-8101 福島県福島市上町2-5 藪内ビル2F TEL. 024-563-1135

次号は平成28年7月の発行予定です。